

モニタリング結果報告書

施設名 : 境川遊水地公園

指定管理者 : (財)神奈川県公園協会

施設所管課(事務所名) : 藤沢土木事務所

(平成22年度 上半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
4月	5月10日	5月28日	月例報告書・日報・現場確認
5月	6月10日	6月22日	月例報告書・日報・現場確認
6月	7月10日	7月27日	月例報告書・日報・現場確認
7月	8月10日	8月27日	月例報告書・日報・現場確認
8月	9月10日	9月27日	月例報告書・日報・現場確認
9月	10月10日	10月26日	月例報告書・日報・現場確認

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A : 提案を上回る B : 提案どおり C : 提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。

<提案内容の概要>

ボランティア団体をはじめとする地域・関係機関との連携した事業の実施

<実施状況>

4月 ビオトープ管理 参加人数 15名
2月～4月にかけて5回計画し、3回実施したビオトープ管理の最後を4月4日に実施した。
湿地環境の維持管理のために生えてきた木本の除伐、抜根や枯草の除去を行いました。
(地域団体、地元大学生の協力)

4～9月 体験学習・研修(地層観察・貝化石採集)の実施
4月24日・境川遊水地貝化石ウォッチング(県立生命の星地球博物館と共催) 29名
4月29日・中学校科学部合同地層・貝化石観察 77名
5月16日・化石学入門(県立生命の星地球博物館と共催) 18名
7月22日・12.5万年前の貝化石掘り(藤沢市みどりいっぱい市民の会へ協力) 24名
8月2日・大和市教職員研修(地層・貝化石)への協力 18名
9月29日・横浜市立葛野小学校6年生体験学習(地層・貝化石) 94名 等 10件
(教育機関との共催・協力)

6月～8月 川の生物観察会、川の指導者講習 のべ参加者数 147名
・藤沢市西俣野土地改良区や神奈川県藤沢土木事務所と共催した俣野ゴム堰と川の生物観察会、天王森泉公園と協力して行った川の生物観察会などの他、RACリーダー講習を開催して、地域での川の指導者育成も行いました。
(地域団体との協力、指導者育成)

3 収支状況 (単位：千円) 注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収入額			支出額	収支差額
	指定管理料	利用料金 (前年同月料金額)	その他収入 (前年同月料金額)		
年間予算額	72,000	72,000	0	72,000	0
上半期計 (a)	42,038	42,038	0 (0)	35,352	6,686
下半期計 (b)					
4月	4,041	4,041		4,063	△ 22
5月	8,801	8,801		4,943	3,858
6月	7,999	7,999		7,398	601
7月	6,035	6,035		7,672	△ 1,637
8月	6,832	6,832		4,600	2,232
9月	8,330	8,330		6,674	1,656
合計 (a+b)	42,038	42,038	0 (0)	35,352	6,686

- 1 指定管理者の収入を記載する(県の収入である「使用料」は含まない)。
 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

越流後の清掃予算が計上されおりますが、今年度上半期において越流が一件もなかったため、清掃予算が未執行となっている。

(今期に行った資本的な収入及び支出の状況)

	内容	金額(千円)
収入の状況	特になし	
支出の状況	特になし	
積立等の状況		(期首)
		(期末)

- 収入の状況: 定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
 支出の状況: 車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
 積立等の状況: 積立・借入れ等がある場合は、その内容(施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等)、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	136,698人	87,720人	55.8%
下半期計 (b)	0人	0人	
4月	21,206人	9,892人	114.4%
5月	26,482人	10,097人	162.3%
6月	18,744人	10,722人	74.8%
7月	22,336人	11,479人	94.6%
8月	27,032人	24,250人	11.5%
9月	20,898人	21,280人	△1.8%
合計(a+b)	136,698人	87,720人	55.8%

利用状況に関する意見等

半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。

公園施設整備の充実とともに公園が周知されてきたものと考えられる。
なお、昨年8月から利用者のカウント方法を変更したため、7月までは、大幅な増となっている。

5 苦情・要望等の状況 (施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
4月	2	1		4		7
5月	1	2		1		4
6月	3					3
7月	2	1		2		5
8月	5	3				8
9月	2	3		1		6

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
4月			
5月			
6月			
7月			
8月			
9月			

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。

分野	概要	対応状況
施設・設備	公共利用予約システムについての苦情要望が多い。	県情報企画課に連絡や改善要望を行った。
職員対応	公園管理員が誤って利用されているトイレのドアを開けてしまった。	謝罪するとともに、使用時表示を補修した。
事業内容		
その他	夜中まで花火していて、うるさくて目が覚めた。	警察署へ連絡してパトロールの強化を依頼した。

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
8月 16日	当該公園管理員が作業中気分が悪くなり、救急車で病院搬送された。炎天下での作業を控えるようにした。
月 日	
月 日	

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日		実施せず	
月 日			

9 上（下）半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者	草地の管理について、生物多様性の維持の観点から、決め細やかな管理を実施し、自然観察の場として活用をしてきました。 公園を利用した多様な自然観察会を関係機関と協力して実施した他、自然観察の指導者を育成する講座も開催しました。
施設所管課	防災調整池としての管理やビオトープとしての管理や活用、運動公園としての運営管理など多様な課題を抱えた公園ですが、職員が一体となっているいろいろな創意工夫をして管理やイベントを展開をしている。